



# 声をあげる

患者個人を助けることは、より健康的な地域づくりの大きな一歩となります。しかし、地域に十分な支援ネットワークが存在しないと、患者が健康を損なう生活環境に逆戻りすることもあります。そのようなときは、あなた自身が声を上げて、地域のネットワークを強化し、住民が自らのために活動できるようコミュニティを力づけましょう。



そのような地域づくりは、地域のリーダーの参加を得ることで実現できます。行政担当者や地区活動のリーダー、地域の企業経営者、NPO団体など、いろいろな領域のリーダーに声をかけましょう。患者のために、よりよい、健やかな地域づくりに力を貸してくれるリーダーを地域の中で見出しましょう。

## どのように変化を起こすか：

- ➡ 地域づくりに参加する
- ➡ 影響力のある人たちや地域のリーダーと対話を始める
- ➡ 社会的状況が患者の健康をいかに損なっているか啓発する
- ➡ 地域で支援活動を行っている組織やアドボカシー団体と連携する
- ➡ さまざまな領域の担当者からなる委員会に参加し、地域の課題解決に共に取り組む
- ➡ 事例検討や成功例を活用して、変化を求める心を引き出す
- ➡ 健康をサポートする環境づくりのために、より広い社会運動に参画する

# THE CLEAR TOOLKIT

最前線で働く医療者が、不健康の根底にある社会的要因について問いかけ、行動するために

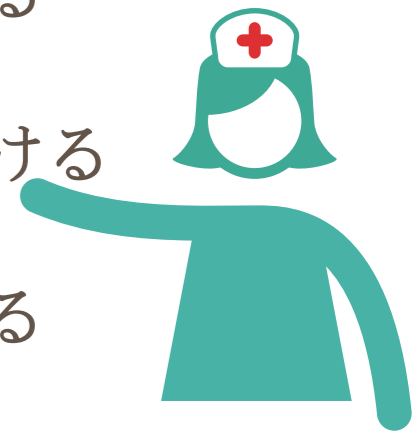
このツールキットの目的は、医療者が不健康の背景にある社会的要因を自信をもって取り組むことができるよう、その方法を伝えるものです。

患者にケアを提供するとき、地域の中で同じような健康問題が何度も繰り返し現れるのをしばしば目にします。その度に「応急手当」をするだけではなく、そもそもそういった健康問題が起こらないようにするために、もっとできることはないでしょうか？

多くの健康問題は、日々の生活状況や家庭環境の根底にある同じ原因に基づいていることがしばしばです：例えば、貧困や空腹、孤立、虐待や差別など。

このツールキットに示す4つのステップを用いると、日々あなたが治療している疾患の根底にある原因を見出すことができます。あなたが同僚とともに、不健康の根底にある社会的要因について患者に問いかけ行動を起こすことによって、地域をよりよくさらに健やかなものにすることができます。

- 1 治療する
- 2 問いかける
- 3 つなげる
- 4 声をあげる



# 治療する

もちろん、あなたの本来の役割は治療とケアの提供です。それでも、患者を治療しながら、患者に尋ねることのできる質問があります。そうすることで、あなたと医療チームは、なぜ同じような医学的状況にある患者が繰り返し受診するのか、そうならないために自分たちに何ができるのか、よりよく理解することができるでしょう。患者に適切に質問できれば、その人の必要としているサポートが得られる地域コミュニティの場所や人々につなげることができます。

病気の原因のいくつかは、問題が大きすぎてとても対応できないと思うかもしれません。しかし、そうした問題の全てを一人で解決する必要はありません。このツールキットを用いれば、患者の助けとなり支えることのできる人たちに患者をつなぐことができます。

## 覚えておくべき大切なこと：

- 注意深く傾聴する
- 敬意を払い共感をもって接する
- 思いやりをもって理解する
- 信頼を得て安心できる存在となる
- さまざまな背景に配慮する
- 身近な存在として率直に接する
- 相手の文化や伝統に留意する
- 何を聞いても受け入れる



# 問いかける

的確な質問をきちんと問いかけることができれば、問題の根底にあるものを知り、患者をより適切な支援につなぐことができます。あまりにも困難な状況にあると、多くの患者は恐れを抱きどうしてよいのかも分からず、助けを求めることすらできないということを覚えておきましょう。

質問をするときには、相手への敬意を持ちつつ気さくな態度で接すると、より明確で有用な回答が得られます。また、安心して話せる安全な環境を用意することも忘れないようにしましょう。そうすれば、より率直に患者さんに話していただけます。

## 質問例：

ご家族のお仕事は安定したものですか？職場環境は安全ですか？

ご家族が仕事に出ているとき、子どもさんの面倒はどなたがみているのですか？

お子さんは、毎日学校に通っていますか？

おうちで、いつも十分に食べられていますか？

あなたとご家族は、安全で清潔な場所で寝られていますか？

家ではいつも安心して過ごせますか？

お子さんの身の安全について何か心配ごとはありませんか？

これまで精神的に圧力をかけられたり、いじめられたり、脅されたことはありませんか？

あなたには、困ったときに頼れる友達や家族がいますか？

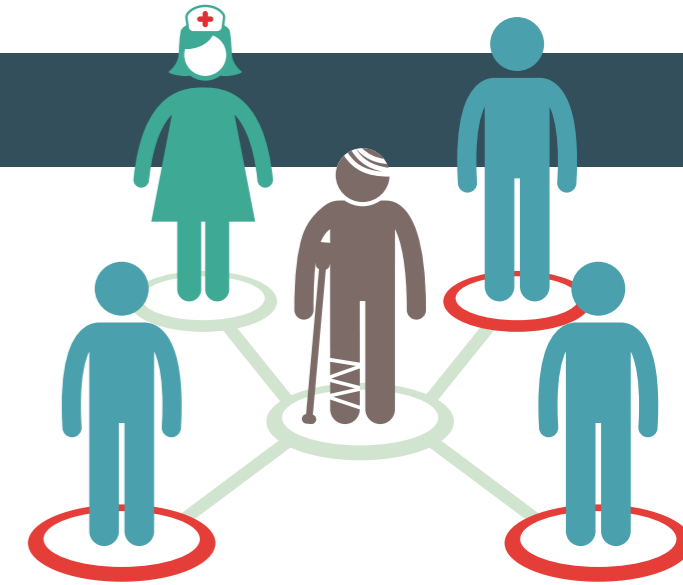


- 雇用 →
- 保育 →
- 教育 →
- 栄養 →
- 住居 →
- 家庭内暴力 →
- 児童虐待 →
- 差別 →
- 孤立 →

# つなぐ

必要な治療をまず行い、患者の置かれている状況について尋ねることができたなら、彼らがどのような困難に直面しているか、より理解することができます。

これらの困難のなかには、とても乗り越えられない思えるものもあります。しかし、問題解決に向けて動くのに、あなたは一人ではありません。あなたは、患者を地域にある資源や支援ネットワークにつなぐことのできる理想的な立場にあります。患者自身が気づいていなくても、実際に生活の状況改善に役立つような手立てや支援があるのです。



## つなぐ先の例：

- 職業安定所（ハローワーク）、自治体就労支援窓口、就労支援センター
- 子育て支援センター、地域子育て支援拠点、児童館・保育所など
- 教育委員会、文部科学省相談窓口ナビ、子どもの権利擁護団体
- フードバンク、炊き出し、市民農園
- 住まいの権利擁護団体、公営住宅自治体相談窓口
- 女性用シェルター、女性支援団体、DV相談支援センター
- 児童相談所、警察、チャイルドライン
- 法テラス、人権団体、地域NPO団体
- サポートグループ、シニアクラブ活動、ご近所ネットワーク